

さざなみ



社会福祉法人親和会
 さざなみ学園
 Tel (0853) 43-2252
 Fax (0853) 43-2256
 e-mail:sazanami@rhythm.ocn.ne.jp



28年度を終えて

わが国が障害者権利条約に批准して3年
が経過しました。

障害者権利条約の目指すところは、障がい
があっても自らの意志で望む生き方を選択
し、障がいの無い人と同じように生きる権
利を保障することです。

こうした権利条約の意図を汲み、支援現場では、利用者の尊厳ある自立を支える支援の在り方を検討する
必要があります。特に、権利条約にある「合理的配慮」に留意し、一人ひとりの障がいの状態や人格の固有性
に配慮した環境整備を基とする支援や、障がいの無い人と平等に生きるための支援のあり方が求められて
います。

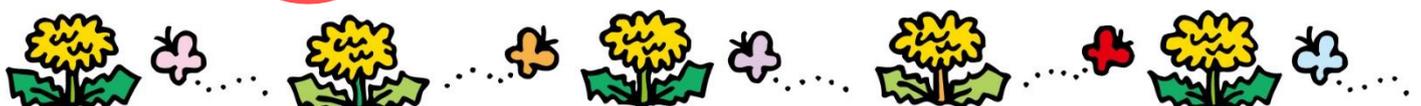
障がいのある人が、障がいの無い人と同じように生きるための支援を実現するには、幼児期・児童期から高
齢期という人生のライフステージにおける途切れのない支援と、障がいの状態や環境の変化に合わせ、必要
に応じて障害福祉サービスから雇用までを自由に行き来もできる制度や仕組みが求められます。

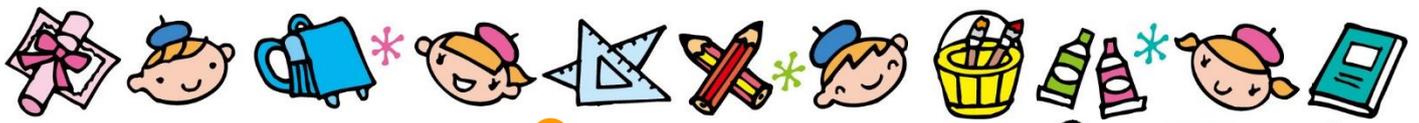
現行では、「年齢」「障害支援区分」「機能や用途」等によって福祉サービスが異なります。個人の障がいの
固有性に対し、「児童期から青年期」「成人期から高齢期」と継続的な支援をどう保証すればよいか、また

「働く・暮らす・余暇」という生活要素ごとの支援サイクル
の構築、そして「施設と地域生活」「福祉と一般就労」などの
関係性の整理も必要です。

児童施設だから児童期だけではなく、退所時の移行支援につ
いても積極的に取り組む必要があります。これからは、各々
がそれぞれの行う事業の枠を超え、入所者の円滑な支援の移
行が図れるように地域支援の体制づくりをすすめていかな
ければいけないと強く感じています。

【園長 佐貫文紀】





児童発達支援センター

ぽこぽこ



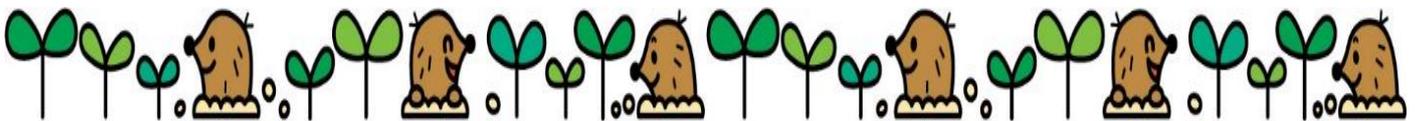
2月25日（土）に、ぽこぽこ交流会がありました。今回は7家族の方に参加して頂き、とても賑やかで楽しい会となりました。

ひなまつり製作では、おひなさまやおだいらさまの顔に子どもたちの顔写真を貼ったり、おひなさまの体にシールを貼ったりお絵描きをしてかわいく仕上げ、とてもすてきなひなまつり飾りができあがりしました。その後の宝探しゲームでは、ご褒美にお菓子のプレゼントをもらって大喜びの子どもたちでした。座談会では、お家の方向士で日頃の子どもさんの様子や家庭で実践していることなど、様々な話をすることができました。

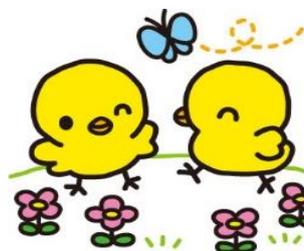


今後も、日頃の子どもたちが頑張っていることを発揮できる場や、お家の方向士で話ができる場を多く作っていきたいと思います。今回参加してくださった皆様、ありがとうございました。

【療育スタッフ 水師成美】



ふれあい教室



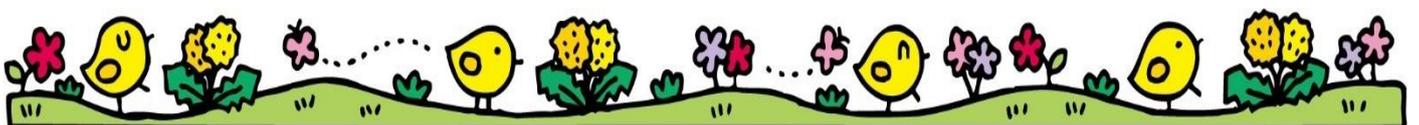
2月22日は「ふれあい教室の修了式」を行いました。園長先生から修了証書をもらうとみんなおうちの方の所に走って行き「お母さん見て見て・・・頑張った」「おとうさんこーんなのもらった・・・すごいでしょ」身体全体からあふれ出す喜び・・・この瞬間を親子で共有し、心躍らせる感覚がお互いに響き合う瞬間。1年間の色々な思いがよぎります。



人と人が笑顔で感動を共有した時、「心が安定」することで「自信」に繋がり「自己肯定感」を高めることができます。幼児期に育まれるこの大事な時期に親子で感動する体験を、もっと増やしていきたいですね。

さて4月から1年生！進級・・・入園・・・それぞれが新しい場所での出発です。さー元気いっぱいレッツゴー！！♪♪♪

【療育スタッフ 安原修子】





節分会

今年も毎年恒例の節分会の季節がやってきました。今年はどうな鬼^{おに}がやってくるのかみんな興味津々です。豆を準備し、遊戯室に集まり準備万端。節分会の始まりです♪



わあ〜！！

初めにスタッフから節分の由来を説明し、節分行事の理解を深めます。その後、いよいよ豆まきの始まりです。そして、鬼さん登場！今年は比較的好い鬼が出てきました。みんな安心して一斉に豆の集中砲火を浴びせます。今年はおかしい鬼で良かったと安心したところで、怖い兄弟鬼が満を持して登場しました。遊戯室内を所せましと暴れ回る兄弟鬼。みんな勇気を振り絞り、豆を投げ、なんとか兄弟鬼を退治することができました。最後は鬼と仲直りして記念撮影📷今年も鬼退治をして無事節分会を終えることができました。めでたし、めでたし♪



【支援課スタッフ 今岡卓郎】



思い出会

3月11日に卒園生を送る思い出会がありました。今年度は司会を務めることになり、内心はとても緊張していましたが、11日が近づくにつれて「思い出会だね、今年はどうなDVDかな？」と楽しみな表情を見せてくれたのでみんなの楽しみに後押しされる形で無事に司会をすることができたようにも思います。

子どもたちが飾り作りを手伝ってくれたので華やかな会場で迎えることができました。今年度は2名が養護学校を卒業し退園を迎えました。今まで一緒に過ごした日々への感謝と、これからの生活に向けたエールを伝えることができたと思います。1年の思い出をまとめたDVDが上映されると、誰もが興味深そうに見ていました。その後は楽しい昼食会🍴🎵献立に大好きなフルーツやケーキもあり、



みんなが喜んで食べていました。こうやって1年、行事や日常での様子や表情を振り返ると、毎日変わらないようでも少しずつ変化・成長を積み重ねている様子に改めて気づいたようにも感じます。子ども達の成長に負けまいように、自分自身も成長していければと思います。



【心理スタッフ 福田浩士】





支援課 普段の様子

支援課は現在、就学前の子2名、小学生が4名、中学生9名、高校生12名、学校を卒業した方1名の合計28名で生活しています。

余暇時間で男の子が好きなのはやっぱりテレビゲームです。謎解き、ゾンビ退治、スポーツなどいろんなジャンルのゲームを楽しんでいます。女の子は漫画を読んだり、音楽を聴いたり、パズルをしたりとゆったり過ごすことが好きなようです。壁面飾りや編み物など手先を使った製作活動も楽しんで行う余暇の一つです。園内には女の子たちが作ってくれたたくさんの作品が飾ってあります。



幅広い年齢の子どもたちが一緒に生活していますが、小さい子が困っているとお兄さん・お姉さんが声を掛けていたり、スタッフが重い物を持っていると「持とうか?」と優しく声を掛けてくれる子がいたり、みんなで助け合うことが自然と身についていることを嬉しく思います。そして、同時に子どもたちの成長を感じる瞬間でもあります。

【副主任支援スタッフ 田中まどか】



おしらせ

*神西幸楽会女性部様よりタオルをいただきました。

*ご家族の方々より果物等をいただきました。

編集後記

本年度中は大変お世話になりました。今年度も様々な行事や出来事があり、子どもたちもスタッフもたくさんの思い出ができたと思います！また来年度に向けて新たなスタートが切れるよう、体調に気を付けて元気に過ごしていきたいと思います。

広報委員：田中、大畑

ありがとうございました!!

掲載しました氏名・写真につきましては、本人・家族に承諾を得ています。